

## 阿見町との連携協定に関する概要

市区町村名	阿見町（茨城県）
町長	千葉 繁
住所	〒300-0392 茨城県稲敷郡阿見町中央1丁目1番1号
アクセス	【鉄道】JR常磐線荒川沖駅からタクシーで約10分 【車】首都圏中央連絡自動車道牛久阿見IC・阿見東ICから約10分 常磐自動車道桜土浦ICから15分 【バス】JR常磐線土浦駅から約20分
人口等	47,466人（平成30年8月現在）
世帯	16,520世帯（平成30年8月現在）
面積	71.40km <sup>2</sup>
町の概要	阿見町は、首都東京から60km、県都水戸から50kmの位置にあり、筑波研究学園都市、成田国際空港にも近接している。また、首都圏中央自動車道のICが2箇所開設され、首都圏への物流拠点となっている。
主な産業	第1次産業3.8% 第2次産業25.5% 第3次産業67.7% 農業については、都市近郊型農業で、一経営体当りの平均耕作面積は2haと小規模となっており、水稻を始め、レンコン・西瓜・白菜・ねぎ・ほうれん草など、約40品目の多種多様な農産物が生産されている。また、平成26年度から常陸秋そばの産地化に取り組んでおり、平成30年度には60haまで拡大されている。
卒業生	石引英世（JA茨城かすみ副組合長 S47年経済学科卒）、石引大介（阿見町議会議員 H13年経済学科卒） 本橋大輔（阿見町商工観光課 H6年経営学科卒）、浅野裕治（阿見町農業振興課 H6年拓殖学科卒） 水間宗（阿見町道路公園整備課 H17年短生学科卒）、野口茜（阿見町高齢福祉課 H23年院農化卒）
交流実績	1. 都市農村交流事業（おいしいお米プロジェクト） 食香粧化学科（妙田教授他）、農芸化学科（辻井教授）、茨城県人会（鈴木教授・秋山助教他） 2. 地域資源を活用した新商品試作 食香粧化学科（山崎教授・佐藤教授他）、自然資源経営学科（黒瀧教授・小川助教） 3. 農産物収穫体験事業 自然資源経営学科（黒瀧教授・小川助教） 4. 農商工連携 6次産業化人材育成講座 自然資源経営学科（黒瀧教授・小川助教） 5. 首都圏販売促進事業 自然資源経営学科（黒瀧教授・小川助教） 6. 町内グリーンツーリズム拠点調査 自然資源経営学科（黒瀧教授・小川助教） 7. 農業女子プロジェクト・宿泊型インターンシップ 自然資源経営学科（黒瀧教授・小川助教）、農学科（平野准教授）、国際食農科学科（望月助教） 8. 土壌学勉強会 農芸化学科（加藤准教授） 9. 地域資源を活用した新メニュー開発 栄養科学科（秋山助教） 10. 納豆菌実証実験 国際農業開発学科（小塩教授）
連携協定の要望	○農業振興に関する連携 ・地域資源を活用した6次化商品の開発及び担い手の人材育成 ・地域資源の機能性を活かした飲食メニューの開発 ・集落営農組織、農業生産法人設立に向けた人材育成調査 ・特産品の産地化に向けた輪作体系・土壌管理の確立 ・首都圏販売促進事業の推進 ○都市農村交流に関する連携 ・東京農大生によるインターンシップの実施 ・産学官連携によるグリーンツーリズムの推進
本学担当窓口	自然資源経営学科 小川 繁幸助教、栄養科学科 秋山 聡子助教
町担当者	阿見町産業建設部農業振興課 農政係長 浅野裕治 Tel. 029-888-1111（内）182 E-MAIL asano-yuji@town.ami.lg.jp